



C型肝炎について

新年あけましておめでとうございます。風が冷たく、気温もさがり、インフルエンザにも気をつけなければいけない季節となりました。手洗い、うがいなどをして、かからないようにしましょう。

さて今回はC型肝炎について少しお話をしてみたいと思います。

C型肝炎は、C型肝炎ウイルスの感染により起こる肝臓の病気です。肝臓は体に必要なタンパク質や栄養分の生成や貯蔵、不要となった老廃物や薬物の解毒など生きていく上で必要不可欠な機能を持っています。みなさんが大好きなアルコールの分解も行います。治療せずに放っておくと、慢性肝炎、肝硬変、肝臓に進行することがあります。現在日本では約110万から125万人のC型肝炎感染者がいると考えられていますが、感染がわかっていない方やわかっていても通院されていない方も多いのが現状です。年間3万人が肝臓でなくなり、50%以上がC型肝炎によるものです。感染経路は注射器の使い回し、輸血、入れ墨、母子感染(感染率は低い)、性交渉(感染率は低い) ほぼ半数のかたは感染源不明です。

肝炎の治療の目標は肝臓にならないため、抗ウイルス療法によるウイルスを排除することです。以前はインターフェロンという注射で、副作用があったり、高齢者に使いにくい面もありましたが、2014年より飲み薬だけで治療ができる、副作用のにくいお薬での治療ができるようになりました。大間病院でも現在おこなっています。飲み薬を飲む期間は12~24週間です(薬の種類によって多少異なります)。C型肝炎で肝臓にならないようにするには、以下の流れになります。

1. 自分がかかっているか分からない場合、まず検査をしましょう(検査の助成もあります)
2. C型肝炎と分かたら、まず病院を受診して相談しましょう。
3. 治療が必要と判断されれば、肝炎治療の助成の手続きを進めて、治療を始めましょう。

治療後も定期的な採血や腹部エコーなどの検査は必要ですが、癌になってしまっからは、再発も多い病気なので大変です。現在国や県から治療費の助成がありますが、いつまで続くかわかりません。今のうちに治療を考えてみてはどうでしょうか。何かありましたら、当院にご相談ください。

で・き・ご・と

下北二郎氏、ヒット功労賞を受賞

佐井村出身の歌手、下北二郎氏(本名:若山 彰)の「津軽海峡」がレコード会社ヒット功労賞を受賞しました。昨年はヒット奨励賞を受賞しており、歌手としてデビューしてから自身3度目の受賞となりました。



受賞式にて



津軽海峡